令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 14-009

PDCA	事務事業名	し尿処理事業	部課等名	市民経済部 クリーンセンター 管理担当	担当	中村	
					内線等	23-3567	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節： 第2節 環境との共生 基本施策： 2. 廃棄物対策 単位施策： (2) 廃棄物の処理 個別施策： ②廃棄物の適正処理					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	下水道が接続されていない世帯における生し尿の収集、浄化槽の適正管理を行い、衛生環境の保持に努める。					
	目的を達成するための手段・活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下水道未接続世帯の生し尿の収集を行い、中部知多衛生組合にて処理する。 ・ 市施設浄化槽の保守点検、清掃及び法定検査の実施。 ・ 浄化槽を使用している市民に適正な維持管理の啓発を行う。 					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①し尿収集運搬量	1,644	1,662	1,829	K L	
		②し尿汲取世帯数	1,070	1,013	924	世帯	
		③					
			事業費	31,076	31,503	31,989	千円
		人件費	2,180	2,479	2,487	千円	
		総事業費	33,256	33,982	34,476	千円	
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①し尿汲取等経費(1世帯当たり年間)	22.3	23.8	26.7	千円	
		②					
	③						
成果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位		
	①水洗化率	実績値	97.9	98.1	98.2	%	
		目標値	97.9	98.1	98.3		
	②	実績値					
		目標値					
③	実績値						
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	C					
		市内全域のし尿収集運搬を委託し、収集したし尿を適切に処理することができた。成果指標の水洗化率については、目標値の達成には至らなかったが、市内の下水道への接続及び合併処理浄化槽への切替えが進んだ結果、し尿汲取世帯は89世帯減少することができた。衛生環境を保持するため、今後もより一層市報やホームページ等で、し尿汲取り世帯の浄化槽への切替えを啓発していく。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進				
			し尿のみを処理する単独浄化槽では、家庭からの生活雑排水が処理されずに排水され、悪臭や水質汚濁の原因になるため、合併処理浄化槽のメリットを市報やホームページでPRし、切り替えを促進していく。また、浄化槽設置済みの世帯への浄化槽の適切な維持管理について啓発を行う。				
		令和3年度の目標	成果指標		目標値		単位
			し尿収集と浄化槽の管理が適正に行われている				